

えこらぼの外部資金導入セミナー

「賢い外部資金獲得術」
～四万十楽舎における事例を通じて～

西本五十六

平成25年2月2日

四万十楽舎について

- 平成25年4月から「一般社団法人」として再出発

平成11年4月設立

社団法人 西土佐環境・文化センター 四万十楽舎 会員数：正98名 準73名

- 財務運営の状況

年間予算規模・・・30,000,000円

収入 会費収入900千円 収益事業収入19,000千円

受託事業収入8,000千円 その他2,100千円

四万十楽舎の事業

事業

- ・四万十川流域の環境保全・文化継承活動
- ・生涯学習、環境教育に関する活動
- ・研修宿泊施設の管理、運営
- ・都市と農山村を結ぶグリーンツーリズム、エコツーリズム、自然体験活動
- ・地域活性化に資する産業振興
- ・四万十川流域、幡多地域のネットワーク活動及び情報発信
- ・地方公共団体等からの受託事業

具体的な事業内容

公益事業・・・自主事業

→私たちスタッフが夢を実現させる

本当にやりたい事業として位置付け。

収益事業・・・宿泊事業

自然体験事業

受託事業

☆廃校舎運営の指定管理者を教育委員会より受けているが、

指定管理費は零円。常勤スタッフ5名（繁忙期アルバイト
外部インストラクターも在）

自主事業

- **子どもキャンプ**: 春休み 高知市内の子どもたち対象
夏休み 関東・高知市内 “ ”
- **一般社会人向けエコツアー**: 春 秋 3泊4日 <源流から河口まで>
- **タケノコ祭り**: 竹林の整備からタケノコの収穫
- **柿の上収穫祭**: 秋の一日 (柿の上集落協定主催)
- **炭焼き作業**: 材の切り出しから窯焼きまで数回実施

収益事業・受託事業

受託先	事業名	参加者数 など
四万十市教育委員会	生涯学習事業 四万十小楽校・四万十川 森のようちえん 文化活動ワークショップ 環境ワークショップ ふれあいホール受託事業 ドラゴンキッズラン	342名(計12回) 144名(計 5回)
高知県教育委員会	指導者養成研修	11名(2泊3日)
中国四国農政局	柿の上地区活性化協議会	---
四万十市	ふるさと雇用再生特別基金 四万十川流域元気な地域づくり協議会 四万十 川ガ牛体験事業	--- --- 28名
高知県森と緑の会	森川海 人つながり再発見！ 山の一日先生派遣事業	77名(計4回) 475名(21校)
河川環境管理財団	トサシモツケを守り生かす保全活動	---
西土佐商工会	河川美化・緑化事業（桜植樹）	---
その他	パナソニックNPOサポートファンド 奥四万十楽しまんと研究会モニターツアー	---

收益事業…「宿泊事業」

年度	本 館	里小屋(バンガロー)
2007年	1931名	444名
2008年	1957名	531名
2009年	1709名	426名
2010年	1749名	490名
2011年	2049名	617名

収益事業…「自然体験事業」

年度	売上金額
2007年	
2008年	
2009年	
2010年	4,190千円
2011年	5,830千円

<メニュー>

- ・ カヌーツーリング
- ・ カヌ一体験
- ・ 川ガキコース
- ・ イカダ遊び
- ・ イカダ下り
- ・ 黒尊川シュノーケリング
- ・ 北の川沢歩き
- ・ 川漁師体験
- ・ 魚釣り
- ・ 木工品づくり
- ・ 登山ガイド
- ・ 星空観察

具体的な外部資金の導入評価 経験と事例から ①

TOTO水環境基金

- ・民間企業のTOTOが提供する助成制度
- ・水に関する環境活動に100%助成
- ・活動内容が良ければ何度も助成を受けられる
- ・報告事項は簡素で会計報告は基本的に無し

具体的な外部資金の導入評価 経験と事例から ②

年賀寄付金配分助成

- ・日本郵便が年賀寄付金を財源として配分
- ・原則100%助成（一部自己資金が必要）
- ・助成内容に活動の他に、

<施設改修・機器導入・車両購入>などがある。
- ・都道府県知事等の意見書の添付要

具体的な外部資金の導入評価 経験と事例から ③

河川整備基金助成

- ・(財)河川環境管理財団が助成
- ・原則100%助成（一部自己資金が必要）
- ・「河川」に関わる活動であれば何でもOK!
- ・報告に際しては自己評価する項目がある。

具体的な外部資金の導入評価 経験と事例から ④

高知県清流保全パートナーズ協定事業

- ・高知食料株式会社が助成し、協定書を結ぶ
- ・原則100%助成
- ・「河川」に関わる活動であれば何でもOK!
- ・高知県 環境共生課を通じて申請をする必要がある。

具体的な外部資金の導入評価 経験と事例から ⑤

トヨタ財団

- ・国内助成向けの「地域」主体の活動
- ・原則100%助成
- ・年度をまたがり、比較的大規模で地域を巻き込んだ事業形態に向いている。

具体的な外部資金の導入評価 経験と事例から ⑥

パナソニックNPOサポートファンド

- ・団体の基盤整備のための助成制度

事業活動のための助成では無く団体強化の為

- ・原則100%助成
- ・機器購入など理由さえあれば、支出項目に制限無し

具体的な外部資金の導入評価 経験と事例から ⑦

パナソニックNPOサポートファンド

- ・団体の基盤整備のための助成制度
事業活動のための助成では無く団体強化の為
- ・原則100%助成
- ・機器購入など理由さえあれば、支出項目に制限無し

具体的な外部資金の導入評価 経験と事例から ⑧

その他助成

- ・子ども夢基金
- ・ニッセイ財団
- ・公益信託こうちNPO地域社会づくりファンド

～～国内の民間助成団体の数：約1200～～

公益財団法人 助成財団センター

上記団体より「助成団体要覧2012民間助成金ガイド」出版している

助成金申請の 「こつ」とポイント

- 1 国内の民間助成制度の大枠を日頃から把握しておく
- 2 日頃から「年間活動構想」と「助成金制度」をマッチング
- 3 それぞれの助成金制度の特徴をつかんでおく
- 4 年間スケジュール表に締切日を書き入れておく
- 5 締切に追われる事なく、余裕を持って申請書類の推敲を
- 6 団体の目指す「目的や事業」を簡潔明瞭に表現出来る様に
- 7 その助成制度が狙っている趣旨に添う形の申請内容に
- 8 出来れば前金・中間払いの制度があれば、なお良い

最後に

資金力のない私たち団体にとって、**民間助成金制度**は活動体として「車の両輪」とも言うべき重要な位置付けにあります。

欧米の様に寄付金に対してあまり理解を得ない日本にとって**民間助成金制度**は意義があります。

良いお金にするにも悪いお金にするにも、私たちの腕に任されています。

持続的安定的活動には有効に働く**民間助成金制度**を。